パフォーマンスクラスタランディングページからクラスタのパフォーマンスを監視します

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_monitor_cluster_performance_from_cluster_landing_page.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

パフォーマンスクラスタランディングページからクラスタのパフォーマンスを監視します 1
Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスターランディングページからクラスターのパフォーマンスを監視する 1
Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスターランディングページについて 1
[パフォーマンス クラスタ ランディング]ページ 2
Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスターランディングページを確認する 2
[パフォーマンス クラスタ サマリ]ページ 2
Active IQ Unified Manager でトップパフォーマーのページを表示する 5

パフォーマンスクラスタランディングページからクラスタのパフォーマンスを監視します

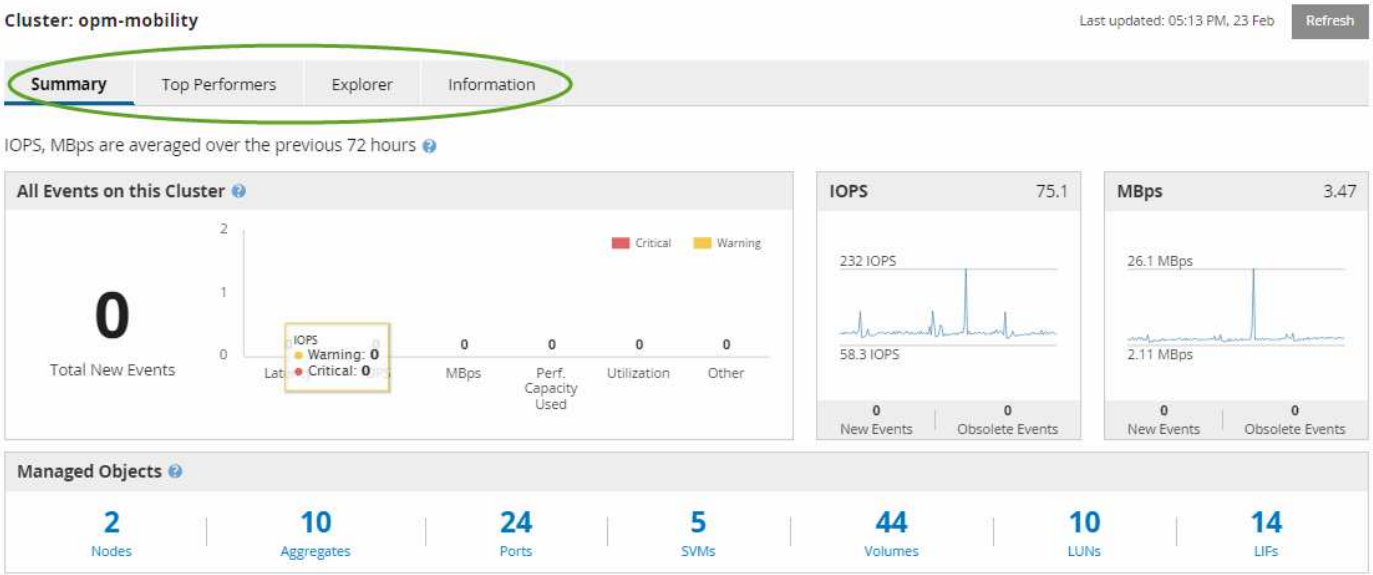
Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスターランディングページからクラスターのパフォーマンスを監視する

[パフォーマンス クラスタ ランディング]ページには、Unified Managerのインスタンスで監視している選択したクラスタのパフォーマンス ステータスの概要が表示されます。このページを使用すると、特定のクラスタの全体的なパフォーマンスを評価し、クラスタ固有のイベントをすばやく把握して特定し、解決策を適用することができます。

Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスターランディングページについて

[パフォーマンス クラスタ ランディング]ページには、選択したクラスタのパフォーマンスの概要とクラスタ内の上位10個のオブジェクトのパフォーマンス ステータスが表示されます。パフォーマンスの問題は、ページ上部の[このクラスタのすべてのイベント]パネルに表示されます。

[パフォーマンス クラスタ ランディング]ページには、Unified Managerのインスタンスで管理されている各クラスタの概要が表示されます。このページでは、イベントとパフォーマンスに関する情報が提供され、クラスタの監視とトラブルシューティングを行うことができます。次の図は、opm-mobilityというクラスタの[パフォーマンス クラスタ ランディング]ページの例を示しています。



[クラスタ サマリ]ページのイベント件数は、[パフォーマンス イベント インベントリ]ページのイベント件数と一致しない場合があります。これは、組み合わせしきい値ポリシーに違反した場合、[クラスタ サマリ]ページでは[レイテンシ]バーと[利用率]バーにそれぞれ1つのイベントを表示できるのに対して、[パフォーマンス イベント インベントリ]ページでは1つのイベントしか表示されないためです。

クラスターがUnified Managerによる管理対象から削除された場合、ページ上部のクラスター名の右側に*削除済み*というステータスが表示されます。

[パフォーマンス クラスタ ランディング]ページ

Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスターランディングページを確認する

パフォーマンス クラスター ランディング ページには、選択したクラスターの概要パフォーマンス状態が表示されます。このページでは、選択したクラスター上のストレージオブジェクトに関する各パフォーマンスカウンターの詳細情報にアクセスできます。

パフォーマンスクラスタのランディングページには、クラスタの詳細を4つの情報領域に分けて表示する4つのタブが含まれています：

- [サマリ]ページ
  - クラスタ イベント ペイン
  - MB/sおよびIOPSパフォーマンスチャート
  - [管理対象オブジェクト]ペイン
- [パフォーマンス上位]ページ
- エクスプローラーページ
- [情報]ページ

[パフォーマンス クラスタ サマリ]ページ

Active IQ Unified Manager のパフォーマンスクラスタサマリページを確認する

パフォーマンスクラスタ概要ページには、クラスタのアクティブなイベント、IOPSパフォーマンス、およびMB/sパフォーマンスの概要が表示されます。このページには、クラスタ内のストレージオブジェクトの総数も表示されます。

Active IQ Unified Manager のクラスターパフォーマンスイベントペインを確認する

クラスターのパフォーマンスイベントペインには、クラスターのパフォーマンス統計情報とすべてのアクティブなイベントが表示されます。これは、クラスターおよびクラスター関連のパフォーマンスやイベントを監視する際に非常に役立ちます。

このクラスターペイン上のすべてのイベント

このクラスタの「すべてのイベント」ペインには、過去72時間に発生したすべてのアクティブなクラスタパフォーマンスイベントが表示されます。一番左に表示されるのは「アクティブイベントの合計」です。この数値は、このクラスタ内のすべてのストレージオブジェクトにおける新規イベントと確認済みイベントの合計を表します。「合計アクティブイベント」リンクをクリックすると、イベントインベントリページに移動し、これらのイベントのみが表示されるようにフィルタリングされます。

クラスターの「アクティブイベント総数」棒グラフには、アクティブな重大イベントと警告イベントの総数が表示されます：

- レイテンシ（ノード、アグリゲート、SVM、ボリューム、LUN、ネームスペースの合計）
- IOPS（クラスタ、ノード、アグリゲート、SVM、ボリューム、LUN、ネームスペースの合計）
- MBps（クラスタ、ノード、アグリゲート、SVM、ボリューム、LUN、ネームスペース、ポート、LIFの合計）
- 使用済みパフォーマンス容量（ノードとアグリゲートの合計）
- 利用率（ノード、アグリゲート、ポートの合計）
- その他（ボリュームのキャッシュ ミス率）

リストには、ユーザ定義のしきい値ポリシー、システム定義のしきい値ポリシー、および動的なしきい値からトリガーされたアクティブなパフォーマンス イベントが含まれます。

グラフデータ（縦棒グラフ）は、重大なイベントの場合は赤色（）、警告イベントの場合は黄色（）で表示されます。各縦型カウンターバーにカーソルを合わせると、実際のイベントの種類と数を確認できます。**Refresh** をクリックすると、カウンターパネルのデータが更新されます。

凡例にある「重大」アイコンと「警告」アイコンをクリックすると、「アクティブイベント合計」パフォーマンスグラフで、重大イベントと警告イベントを表示または非表示にできます。特定のイベントタイプを非表示にすると、凡例アイコンが灰色で表示されます。

カウンタ パネル

カウンタ パネルには、過去72時間のクラスタのアクティビティとパフォーマンス イベントが表示されます。次のカウンタがあります。

- **IOPS**カウンターパネル

  IOPSは、クラスタの動作速度（1秒あたりのI/O処理数）を示します。このカウンタ パネルでは、過去72時間のクラスタのIOPSの概要を確認できます。グラフ上のラインにカーソルを合わせると、その時点のIOPSの値が表示されます。

- **MB/s**カウンターパネル

  MBpsは、クラスタとの間で転送されたデータの量（1秒あたりのメガバイト数）を示します。このカウンタ パネルでは、過去72時間のクラスタのMBpsの概要を確認できます。グラフ上のラインにカーソルを合わせると、その時点のMBpsの値が表示されます。

グラフ右上のグレーのバーに表示される数字は、過去72時間の平均値です。トレンド グラフの上下に表示される数字は、過去72時間の最大値と最小値です。グラフ下のグレーのバーには、過去72時間のアクティブなイベント（新規および確認済みのイベント）と廃止イベントの件数が表示されます。

カウンタ パネルには、2種類のイベントが表示されます。

- アクティブ

  現在アクティブなパフォーマンス イベント（新規または確認済みのイベント）を示します。自己修復または解決されていないイベントで、ストレージ オブジェクトのパフォーマンス カウンタがパフォーマンス しきい値を超えたままになっているものです。

- 廃止

  アクティブではなくなったイベントを示します。自己修復または解決されたイベントで、ストレージ オブジェクトのパフォーマンス カウンタがパフォーマンスしきい値を上回らなくなったものです。

*アクティブなイベント*の場合、イベントが1つしかない場合は、カーソルをイベントアイコンの上に置いてイベント番号をクリックすると、該当するイベント詳細ページにリンクします。イベントが複数ある場合は、*すべてのイベントを表示*をクリックすると、選択したオブジェクトカウンタータイプのすべてのイベントが表示されるようにフィルタリングされたイベントインベントリページが表示されます。

Active IQ Unified Manager の管理対象オブジェクトペインを確認する

パフォーマンス概要タブの「管理対象オブジェクト」ペインには、クラスタのストレージオブジェクトの種類と数に関する概要が表示されます。このペインでは、各クラスタ内のオブジェクトのステータスを追跡できます。

管理対象オブジェクトの数は、前回の収集期間以降のある時点におけるデータです。新しいオブジェクトは15分間隔で検出されます。

オブジェクト タイプの数をクリックすると、そのオブジェクト タイプの[パフォーマンス インベントリ]ページが表示されます。オブジェクトのインベントリ ページには、このクラスタ上のオブジェクトだけが表示されます。

管理対象オブジェクトは次のとおりです。

- ノード

  クラスタ内の物理システムです。

- アグリゲート

  保護およびプロビジョニングの際に1つのユニットとして管理可能な、複数のRedundant Array of Independent Disks（RAID）グループの集まりです。

- ポート

  ネットワーク上の他のデバイスへの接続に使用される、ノード上の物理接続ポイントです。

- ストレージVM

  固有のネットワークアドレスを介してネットワーク アクセスを提供する仮想マシン。SVM は、個別の名前空間からデータを提供することができ、クラスタの他の部分とは別に管理可能です。

- ボリューム

  サポートされているプロトコルを使用してアクセス可能なユーザ データを格納する論理エンティティです。数にはFlexVolとFlexGroupボリュームはどちらも含まれますが、FlexGroupコンスティチュエントは含まれません。

- **LUN**

  Fibre Channel（FC）論理ユニットまたはiSCSI論理ユニットの識別子です。一般的にストレージ ボリュ

ームに対応する論理ユニットで、コンピュータ オペレーティング システム内ではデバイスとして表されます。

- ネットワークインターフェース

  ノードへのネットワーク アクセス ポイントを表す論理ネットワーク インターフェイスです。数にはすべてのインターフェイス タイプが含まれます。

Active IQ Unified Manager でトップパフォーマーのページを表示する

[パフォーマンス上位]ページには、選択したパフォーマンス カウンタに基づいて、パフォーマンスが上位または下位のストレージ オブジェクトが表示されます。例えば、「ストレージVM」カテゴリでは、IOPSが最も高いSVM、レイテンシが最も高いSVM、またはMB/sが最も低いSVMを表示できます。また、パフォーマンスが上位のオブジェクトでアクティブなパフォーマンス イベント（新規または確認済みのイベント）が発生しているかどうかも表示されます。

[パフォーマンス上位]ページには、各オブジェクトが最大10個表示されます。[ボリューム]オブジェクトにはFlexVolボリュームとFlexGroupボリュームの両方が含まれることに注意してください。

- 時間帯

  上位のオブジェクトを表示する期間を選択できます。選択した期間はすべてのストレージ オブジェクトに適用されます。使用可能な期間は次のとおりです。

  - 過去 1 時間
  - 過去 24 時間
  - 過去 72 時間（デフォルト）
  - 過去 7 日間

- メトリック

  別のカウンターを選択するには、「メトリック」メニューをクリックしてください。カウンターのオプションは、オブジェクトの種類ごとに異なります。例えば、**Volumes** オブジェクトで使用可能なカウンターには、**Latency**、**IOPS**、および **MB/s** があります。カウンターを変更すると、選択したカウンターに基づいて上位のパフォーマーのパネルデータが再読み込みされます。

  使用可能なカウンタは次のとおりです。

  - [レイテンシ]
  - [IOPS]
  - MB/秒
  - パフォーマンス容量使用量（ノードおよびアグリゲートの場合）
  - 利用率（ノードとアグリゲートの場合）

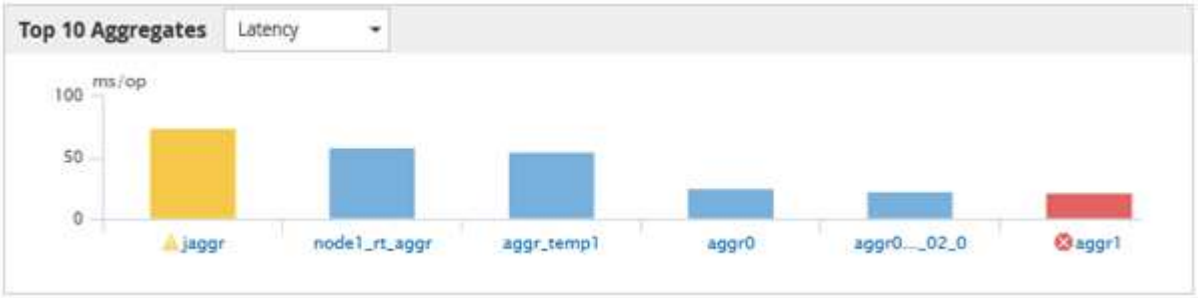
- ソート

  *並べ替え*メニューをクリックして、選択したオブジェクトとカウンターの昇順または降順を選択します。選択肢は*高い順から低い順*と*低い順から高い順*です。これらのオプションを使用すると、パフォ

ーマンスが最も高いオブジェクトまたは最も低いオブジェクトを表示できます。

- カウンターバー

  グラフ内のカウンターバーは、各オブジェクトのパフォーマンス統計を示しており、それぞれのアイテムごとに棒グラフで表されています。棒グラフは色分けされています。カウンターがパフォーマンスのしきい値を超えていない場合、カウンターバーは青色で表示されます。しきい値違反がアクティブである場合（新規または認識されたイベント）、バーはイベントの色で表示されます。警告イベントは黄色で表示され（ ）、重大なイベントは赤色で表示されます（ ）。しきい値超過は、警告イベントと重大イベントを示す重大度イベントインジケーターアイコンによってさらに示されます。



  各グラフのX軸には、選択したオブジェクト タイプの上位のオブジェクトが表示されます。Y軸には、選択したカウンタに対応する単位が表示されます。棒グラフの各要素の下にあるオブジェクト名のリンクをクリックすると、選択したオブジェクトの[パフォーマンス ランディング]ページに移動します。

- 重大度イベント指標

  重大度イベント インジケーターアイコンは、上位成績者のグラフにおけるアクティブなクリティカル（ ）または警告（ ）イベントのオブジェクト名の左側に表示されます。重大度イベント インジケーターアイコンをクリックすると、以下が表示されます：

  - イベント**1**件

    そのイベントの[イベントの詳細]ページに移動します。

  - **2**つ以上のイベント

    [イベント インベントリ]ページに移動します。選択したオブジェクトのすべてのイベントが表示されます。

- エクスポートボタン

  カウンターバーに表示されるデータを含む `.csv`ファイルを作成します。表示している単一のクラスターに対してファイルを作成するか、データセンター内のすべてのクラスターに対してファイルを作成するかを選択できます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。